（様式１－１）

学校番号	中学2	学校名	茨城県立太田第一高等学校附属中学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

- 日本国憲法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- いばらき教育プラン
- 学校教育指導方針
- 学校経営計画表
- 学校自己評価表

校訓

至誠・剛健・進取

生徒の実態

・純朴で素直な気質をもち温和である。
・将来の夢や希望をもっている生徒が多い。
・自主性や積極性にやや欠け、目標に向かい粘り強く努力する姿勢がやや低い。

学校の教育目標

主体性を尊び、心身共に健康で、社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成に努める。

保護者の願い

・主体的に粘り強く取り組み夢や希望を実現できること。
・物事を正しく判断し、明るく健全な生活ができること。

道徳教育重点目標

○自立心や自律性を高め、規律ある生活を送ろうとする態度を養う。
○自ら考え、共に学び、積極的に社会に貢献する態度を養う。
○生命を尊重する心や自分の弱さを克服して気高く生きようとする心を育む。

地域の実態

・本校への関心や期待度が高く、教育活動に協力的である。

各教科・科目

国語	正確に理解し適切に表現する力や、思考力想像力を養い、言語感覚を豊かにする。
社会	我が国と郷土を愛するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
数学	筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
音楽	音楽活動の体験を通して、音楽を愛好する心情や感性を育み、豊かな情操を養う。
美術	表現及び鑑賞の活動を通して、美術を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を養う。
保健体育	粘り強くやり遂げようとする態度やルールを守り協力する態度を養う。
技術家庭	望ましい生活習慣を身に付けるとともに勤労の尊さや意義を理解する。
外国語	外国の文化への理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度や国際的視野に立ち、行動する態度を養う。

各学年ごとの指導の重点

1年
○望ましい生活習慣を身に付け、安全で調和のある生活をすること
○礼儀の大切さを理解し時と場に応じて適切に行動すること
○集団の意義について理解を深め、協力し合いながら集団生活の向上に努めること
○かけがえのない自他の生命を尊重すること

2年
○主体的に考え、判断・実行し、自他の行為の結果に責任をもつこと
○温かい人間関係を築き、他の人々に対して思いやりの心をもつこと
○正義を重んじ、誰に対しても分け隔てなく接し、差別や偏見を許さないこと
○かけがえのない自他の生命を尊重すること

3年
○より高い目標を目指し、粘り強く最後まで取り組む強い意志をもつこと
○それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心や広い心をもつこと
○勤労の尊さを重んじ、進んで実践すること
○自分の弱さを克服し、気高く生きようとする心をもつこと

特別活動

【学級活動】
学級や学校の生活上の課題を見出し自主的に取り上げ、協力して課題解決していく自発的・自治的な活動を通してよりよい人間関係の形成や生活づくりに参加する態度を養う。
【生徒会活動】
全校生徒がよりよい學校生活を築くために、異年齢の生徒同士で協力し、主体的に組織をつくり、役割分担や計画を立て、話合いで解決しようとする実践的な態度を養う。
【学校行事】
各学校行事に積極的に参加する意欲を養うとともに、様々な体験活動を通して、よりよい人間関係の形成や自立的態度を養う。

総合的な学習の時間

・探究的な見方、考え方を働かせ、教科横断的・総合的な学習を行うことで、自己の生き方を考えようとする態度を養う。
・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会参画しようとする態度を養う。

道徳の時間の指導方針

生徒一人一人が道徳的価値についての理解に基づき、自己を見つめ物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としてよりよい生き方についての自覚を深めようとする授業を目指す。
・互いの考えを尊重し、伝えたい人間としての生き方について共に深く考え合う。
・日常生活における道徳教育と内容、時期を関連付け、道徳性を育てる。
・年間指導計画に基づき、生徒の発達段階や個に応じた適切な指導を行う。
・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、積極的に励ます個人内評価を行う。

生徒指導

・規律やルールと時間を守ることの指導の徹底
・マナーアップ、ボランティア活動等による社会性と公徳心の育成
・思いやりの心とマナーの大切さを理解し、自己の判断で望ましい行動ができる生徒の育成

特色ある教育活動や体験活動

・卒業50・25周年記念式典
・体育デー（クラスマッチ）
・キャリア講演会
・青龍祭（文化祭）
・国内語学研修
・海外体験留学
・職業体験合宿
・7校連携「探究プロジェクト」

学級・学校の環境の充実・整備

学級の信頼関係や温かな人間関係を基礎として集団を育むとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる環境づくりに努める。
・生徒と教師、生徒同士の心の交流
・異学年交流の推進　・教育相談活動の充実
・校内美化の推進　　・学校図書館の整備と充実
・ICT環境の整備と充実

家庭・地域社会などとの連携

・道徳授業の公開と保護者参加型授業の推進
・地域人材の開発や活用
・地域の関係諸機関と連携した社会性の育成